

さくら教室

台東区立谷中小学校グループ
(谷中小・忍岡小・黒門小・根岸小)
さくら教室発行
令和7年1、2月号
谷中小学校ホームページ➡



鉄棒が苦手、裁縫もできなかった

台東区立根岸小学副校長

この「さくら教室」便りの裏面に、「一人一人のニーズに合わせた学習」が紹介されています。「長い時間集中して取り組むことが苦手だ…」誰にでも苦手なこと、または苦手意識をもっているものはあるでしょう。私は子供の頃から体育の鉄棒運動が苦手でした。休み時間に何度練習しても逆上がりができない。周りの友達が気持ちよいほど回っている姿を観て、羨ましさとともに自分自身に対する不甲斐なさを感じていました。また、高学年になり家庭科という教科に初めて出会ったときには、自身の不器用さに愕然としました。裁縫の玉留めができない、針やミシンが怖くて作業できない。ほとんどの実習を同じクラスの親切な友達が手伝ってくれていました。

「ゲームが得意」、「釣りが好き」、「折り紙が得意」、「工作が得意」、「体を動かすことが好き」、「英語が得意」、「ピアノが得意」、「生き物の名前を覚えるのが好き」、「野球が大好き」…それぞれ好きなものや得意なものは一人一人異なります。「一人一人に合わせた学習」というのは、特定の子供にとって特別な学習ではなく、どの子供にとっても分かりやすく、楽しく、安心して活動に参加をすることができ、自分の成長を感じられる時間が確保されている学習のことを指します。

最近「ウェルビーイング」という言葉を耳にすることが多くなってきました。国が示す教育の基本計画でも「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が示されています。「ウェルビーイング」とは、身体的・精神的・社会的によい状態であることを言います。「日本社会に根差した」というのは、幸福感や学校や地域でのつながり、協働性、利他制、多様性への理解、社会貢献意識、自己肯定感、心身の健康などを指します。この「ウェルビーイング」の実現には、誰一人取り残さず、一人一人の可能性を引き出す学びを、普段の授業や教育活動に取り入れていく必要があります。本校は今年も、一人一人のお子さんの苦手なことに寄り添い、得意なことや好きなこと、そして一人一人の児童の可能性を引き出す教育活動を展開し、自己肯定感や自己有用感を高めることができるよう教職員一同邁進していく所存です。保護者の皆様、地域の皆様方におかれましては、引き続き本校の教育活動への御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。

「裁縫ができないのなら、私がやってあげる。あなたは隣で観てて」と、親切な友達に言われ続けた小学校高学年の私。では家庭科の時間が苦痛かと言ったらそうでもなく、その親切な友達が作業している姿を絵に描いていました。そして、授業が終わるごとにその友達に渡していました。おせじにも上手とは言えないのですが、その都度言ってくれたその友達の「ありがとう」の一言が当時の私の自己肯定感や自己有用感を高めていたのだと思います。

令和7年が全てのお子さん、保護者の皆様にとって穏やかな一年であることを祈念して巻頭の言とさせていただきます。



これからの予定

【指導期間】

3学期指導期間：令和6年1月14日(火)～令和6年3月14日(金)

【巡回指導曜日】

月	火	水	木	金
谷中小学校	黒門小学校	忍岡小学校	谷中小学校	根岸小学校
(根岸小学校)	根岸小学校	谷中小学校		

※ 相談や質問がある場合は、まず担任の先生や特別支援教育コーディネーターに御連絡ください。

巡回指導教員：

※裏面も御覧下さい。

一人一人のニーズに合わせた学習 ～1分間集中トレーニング～

長い時間集中して取り組むことが苦手だ、様々なものに興味をもってしまい中途半端になってしまう・・・一つのことに集中して学習に取り組むことが難しいお子さんを時折見かけます。今回は集中力を高める方法を一部紹介します。

数字の聞き取り書き

お家の方が20個の数字をランダムに一つはっきりとした声で読み上げます。読む速度は2秒に1個ぐらいです。お子さんはその声を聞きながらノートに読み上げられた数字を一つずつ書いていきます。

書き終わったら、一緒に答え合わせをします。上手になってきたら、読む量を増やしたり、桁を大きくしたりしてさらに集中レベルを高めてください。

さらに慣れたら、**言われた数字より1つ大きい数字**を書くように指示を変えてみてください。(例:「2」を聞いたら「3」をノートに書く) これも2秒に1個ずつくらいの速さで読み上げます。慣れてきたらスピードを少し速めてもよいです。この調子で、「1つ小さい数」、「2つ大きい数」・・・などと条件を変えていきます。数列が定着していない場合は、予め1～10などの数列を書いておくと見つけやすいです。(慣れてきたら消します。)



3 2 9 4 3 2 ...

3文字言葉の聞き取り書き

お家の方が3文字言葉をいくつか読み上げててください。お子さんは、その言葉をノートに平仮名で書きます。読む速度は、これも2秒に1個ぐらいが基本ですが、お子さんの様子に合わせて速度を調節してください。「2人しりとり」をしながら取り組んでも楽しめます。(「らくだ」→「だるま」→「まっち」など)

慣れてきたら、**特定の一文字は書かない条件**に変えます。(例えば、「き」が出てきたら書かないルールだと、「ぼきん」は「ぼん」と書く) 上手に書けるようでしたら、量を増やしていったり、「き」から「し」や「と」などに文字を変えていったりしてください。読み上げるスピードにブレーキをかける回数が少なくなってきたらほめてあげましょう。



つつじ みどり かでん・・・



かるた取り

読み札の文を聞いて、取り札を取り合って遊ぶ「かるた取り」も集中力が高まります。犬棒かるた、四字熟語かるた、国旗かるたなど、様々なかるた遊びがありますが、今回は「音合わせかるた(音と絵カードを使ったかるた)」を紹介します。

これは、「ワンワン(犬の鳴き声)」などの「オノマトペ(擬音語・擬態語)」を読み手が読んで、それに合う絵カードを見つける遊びです。聞く力の向上だけでなく、絵から状態を想像するので想像力も鍛えられることが見込まれます。まだ文字が分からない小さなお子さんでも取り組みます。

他にも工夫されたかるた遊びがありますので、ぜひ遊んでみてください。

